

## JIA 関東甲信越支部長活動報告

2014年2月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

本部組織再編に伴った新しい支部委員会の活動が始まっています。ブリテン1月号(12月中旬発刊)で委員会委員の公募を行いました。予想以上に反応がありました。今までスリーピング会員を長年続けてきた方などが参加するきっかけになっています。募集の広報は年末などに限られますが、希望者からの連絡は随時事務局で受けたいと考えています。

支部HPに「教えて!協力会員」サービスが始まりました。これまでも協力会員(賛助会員)名簿を利用して問い合わせされた方は多いと思いますが、同じような製品について問い合わせたい場合や担当者が不在な場合など、すぐに情報が取れないことがあった方も多いと思います。「教えて!協力会員」ではフォームで質問すると、協力会員に一斉に配信され、回答可能な協力会員が直接回答するため、スピーディーに複数の情報が得られるようになります。ぜひご利用ください。 <http://www.jia-kanto.org/koryu/osiete.html>

### 支部長活動報告

- 4日 支部災害対策委員会に参加する。中山信二委員長の下、支部災害対策委員会が動き出している。活動計画の確認、本委員会役割の確認を行う。支部会員、特に顔の見えない東京の会員の参加を促すため地域会ごとのネットワークを進めていく。4月18日には災害シンポジウムを開催し、委員会活動の周知を図る予定だ。
- 7日 支部国際事業委員会が開催される。イタリアのパルマ建築家協会、モンゴル事務所協会から新たな相互交流の提案がある。上海建築学会からの返事はないが年内に上海でセミナーと開催したいので次回委員会に各委員は企画案を持ち寄ることにする。個人的に旅行する人のために現地の建築家団体に紹介状を出すようにしたい。次回委員会に案文を用意する。他国団体の大会開催などの情報をHPで紹介する。協定を結ぶ他国建築家団体大会の登録費免除の交渉をする。
- 8日 全国支部長会議が東北支部で開催される。3年たった復興の状況を視察し、被災地と意見交換することが目的だった。全国的に朝から大雪とな

り不安があったが予定通り、石巻の奥地の温泉宿に到着。九州支部長は仙台空港が閉鎖されたため新千歳空港に着陸することになり、残念ながら参加できなかった。深々と雪が降る中、会議並びに懇親会を行う。翌日、石巻は91年ぶりの大雪に見舞われ、予定を変更しながら北上周辺と南三陸の一部を見て、仙台南を周り、夕方には無事仙台に到着し帰路に就く。

- 10日 昨年11月の都知事への要望書が知事室より都市整備局へ送られたため、東京都都市整備局長宛てに面談を申し入れ、課長2名と意見交換する。建築まちづくりデザイン機構の設置について説明し理解を求める。夕刻より建築まちづくり委員会が開催される。東京都知事候補者への質疑回答、東京都都市整備局との面談、今年のJIA大会でのシンポジウムに招聘したCABE本部のトーマスベンダー氏から来たCABEに関するコンサルティングオファーに対する返事、について議論する。
- 13日 東京都オリンピック・パラリンピック準備局の施設担当課長と面談する。JIAからの提案書を出す。良質な建築まちづくりを実現するための建築アドバイス機構の設置についてJIAは全面的に協力すること。東京都で今まで進められてきた設計施工分離の原則を堅持してほしいこと、納税者にとって納得のいく方法開示の方法などについて話す。準備局では夢のある大会とするため、建築を含めたデザイン全般の企画を考えていくこと、それぞれの分野の専門家の意見もいただきながら進めていきたいと言われる。JIAはデザイン界を含めた他団体との連携を取りながら協力するつもりであることを伝え、今後も意見交換の場を持つことにした。
- 14日 業務環境改善委員会発注方式WGに出席する。オリンピック関連施設に関する東京都との協議について、横浜市新市庁舎建設について議論する。今週末、長野県諏訪市で地域サミット、保存大会が開催予定だが、大雪のため中止を決定する。地域サミットは秋に引き続き延期で、3月末に東京で行うことにする。保存大会は長野地域会と保存問題委員会の要望で5月に開催することにする。
- 17日 東京都財務局部長、課長との面談。東京都ではオリンピック・パラリンピック関連施設の建設発注について、特例としてデザインビルドや設計施工一貫を検討するとの報道が聞こえている。発注権限を持っている財務局として今まで通り透明性の高い設計施工分離を堅持して、納税者への説明責任を果たしていただくように要望する。部長からは、デザインビルド方式も検討はしているが、基本的には今まで通りの方式を取る、との意見をいただく。今後とも意見交換の場を持つことにした。東京三会建築会議が開催される。建築士や建築士事務所の処分問題についての要望書を東京三会でまとめ、各会本部に上げることとする。3月の会議の

- 前に WG メンバーで叩き台を作ることにする。
- 19 日 理事懇談会が開催される。苦情対応に関する規程、懲戒規程について。支部活動費の配分見直しについて。全国会議設置の進捗について。
- 24 日 本部総務委員会を開催する。苦情対応についての規程及び懲戒規程について理事懇談会で議論した内容を踏まえて整理する。苦情ルートを含めた懲戒の図式化が必要。苦情については正会員を通して申し立てることとし、懲戒規程は正会員のみ適用することを明記する。
- 25 日 一般財団法人 国際建築活動支援フォーラム (JSB) の報告会が開催される。支部では日本-リトアニア建築家展 EAST-EAST IV 事業に JSB の補助をいただいております。参加した学生も参加し報告を行う。8 プロジェクトによる総勢 70 名を超える参加者で盛会な報告会となった。
- 27 日 支部常任幹事会を開催する。3 月 7 日開催予定の支部幹事会のため、審議、協議する。JIA スクールの立ち上げについて。2014 年度委員構成表について。新定款に定義された地域会代表が集まる地域サミットを支部規約に規定する。雪のため延期になった保存大会を 5 月下旬に開催する。



JSB 海外活動自主プログラム報告会 2014. 02. 25

支部長活動報告 2014 年 2 月

2014 年 3 月 19 日作成 上浪 寛